

「西郡地域まちづくり構想作成支援業務」及び  
「八尾市立桂人権コミュニティセンター及び周辺施設整備基本計画  
策定等支援業務」委託事業者選定基準

## 1. 選定方法

- (1) 審査対象となった提案について、「2. 評価基準」に基づき、「西郡地域まちづくり構想作成支援業務」及び「八尾市立桂人権コミュニティセンター及び周辺施設整備基本計画策定等支援業務」委託事業者選定委員会により審査を行い、評価項目①～④の合計を「提案点」、評価項目⑤を「価格点」として算出するものとする。また、提案点と価格点の合計点数を「評価点数」とし、各委員の評価点数の合計点を「総合評価点数」とする。
- (2) 「評価点数」は、165点を満点として、内訳は「提案点150点」、「価格点15点」とする。なお、価格点について、委託予定額の上限は業務ごとに定められているが、価格評価は合計額にて評価する。
- (3) 提案者が4者以上ある場合は、事前に書類審査を実施し、その合計点を事前審査評価点とし、各委員の合計点の高い上位3者をプレゼンテーション審査の対象とする。  
書類審査は、評価項目の①～③をもって評価するものとする。
- (4) 審査は、プレゼンテーションの内容も踏まえて総合的に評価を行い、優先交渉権者を選定する。ただし、いずれの提案者も総合評価点数が6割に達しない場合、再募集とする。
- (5) 総合評価点数の同じ者が2者以上あるときは、提案点の高い者を優先交渉権者として選定する。なお、提案点も同じ場合は、①－提案項目A、①－提案項目Bの合計点の高い者を優先交渉権者として選定する。
- (6) 優先交渉権者との協議が合意に至らなかった場合は、次点の者と協議に入ることとする。
- (7) 提案者が1者であっても審査を実施し、総合評価点数が6割に達した場合、その者を優先交渉権者として選定する。

## 2. 評価基準

- ・各評価項目について、評価内容に記載の観点から評価し、採点する。なお、審査は事業者名を伏せて行う。
- ・総合評価点数は選定委員の合計点とする。
- ・書類審査で評価点（評価項目①～③（合計125点））を算出し、その合計点の高い上位3者を選定する。審査は、プレゼンテーションの内容も踏まえて総合的に評価を行い、優先交渉権者を選定する。
- ・記載がない項目は0点とする。
- ・見積金額が委託予定額の上限を超えている場合は失格とする。

【評価項目と配点】

評価項目	着目点	配点	評価事項	評価点		書類審査	評価点	
①提案項目A	1. 支援業務全般についての考え方	25	各支援業務全般についての考え方として、地域の課題や現状の認識を踏まえたうえで、具体的なものであるか。	A	10	極めて良好		
					B	8		
				C	6	普通		
				D	4	やや不十分		
				E	2	不十分		
	2. 業務内容の検討手法、両業務間の連携について	15	業務内容の検討手法、両業務間の連携について具体的に妥当性があるか。	A	15	極めて良好		
				B	12	良好		
				C	9	普通		
				D	5	やや不十分		
				E	2	不十分		
①提案項目B	1. 業務内容の認識とスケジュールについて	10	提案内容は両業務の仕様書の内容を網羅しているか。また、両業務を一体的に遂行していくにあたり、適切な業務実施スケジュールとなっているか。	A	10	極めて良好		
				B	8	良好		
				C	6	普通		
				D	4	やや不十分		
				E	2	不十分		
	2. ゾーニング案の作成について	20	まちづくりに係る専門性を活かしたゾーニング案の作成について適切な業務遂行・提案・助言が期待できるか。現状の把握手法が適切か。幅広い知識等を有し、有効な検討ができるかなど。	A	20	極めて良好		
				B	15	良好		
				C	10	普通		
				D	5	やや不十分		
				E	2	不十分		
	3. まちづくりロードマップの作成について	10	地域の実情を踏まえ、現実的なまちづくりに資するスケジュールの検討が適切に行えるか。	A	10	極めて良好		
				B	8	良好		
				C	6	普通		
				D	4	やや不十分		
				E	2	不十分		
	4. 基本計画案の策定について	20	基本計画策定に向けた検討プロセスが、基本構想を踏まえたものとなっているか。また、専門性を活かし、現実的で独創的な計画策定が期待できるか。	A	20	極めて良好		
				B	15	良好		
				C	10	普通		
				D	5	やや不十分		
				E	2	不十分		
5. 運営方法・維持管理計画の検討	10	複合化施設の運営方法及び維持管理計画の検討について、地域のにぎわい創出や複合化の利点を活かすことができる検討方法の提案が期待できるか。	A	10	極めて良好			
			B	8	良好			
			C	6	普通			
			D	4	やや不十分			
			E	2	不十分			
①提案項目C	仕様書にない提案について	10	仕様書に記載がない内容で、有効な提案があるか。・他者にない提案があるか。・得意分野を活かした提案か。	A	10	極めて良好		
				B	8	良好		
				C	6	普通		
				D	4	やや不十分		
				E	2	不十分		
②業務実績	業務実績について	10	本業務に類する事業実績、成績を有しており、その知識・ノウハウ・経験等を十分に活かすことが期待できるか。	A	10	極めて良好		
				B	8	良好		
				C	6	普通		
				D	4	やや不十分		
				E	2	不十分		
③実施体制	業務実施体制について	10	業務遂行に向け、必要な人員が配置されているか。また、適切な専門性を持った人員が配置され、指導・監督体制も含め充分な実施体制になっているか。	A	10	極めて良好		
				B	8	良好		
				C	6	普通		
				D	4	やや不十分		
				E	2	不十分		
④プレゼンテーション	1.本市に対する理解について	5	人口減少・少子高齢化等の本市の現状について理解・把握した内容となっているか。	A	5	極めて良好		
				B	4	良好		
				C	3	普通		
				D	2	やや不十分		
				E	1	不十分		
	2. 質問に対する応答について(当該業務の把握・理解度)	5	質問に対する応答が明快、かつ迅速か。	A	5	極めて良好		
				B	4	良好		
				C	3	普通		
				D	2	やや不十分		
				E	1	不十分		
	3. 業務への取組み意欲について	5	業務への取組み意欲が旺盛、かつ意欲表明があるか。	A	5	極めて良好		
				B	4	良好		
				C	3	普通		
				D	2	やや不十分		
				E	1	不十分		
	4. 内容の専門性について	10	プレゼンテーションの内容が専門性を踏まえた内容となり、かつ分かりやすい説明となっているか。	A	10	極めて良好		
				B	8	良好		
				C	6	普通		
				D	4	やや不十分		
				E	2	不十分		
⑤経費見積	経費見積書について	15	市が設定する上限額と提案額を比較し、業務経費の縮減が図られているか。	A	15	2,000万円以下		
				B	12	2,000～2,050万円		
				C	9	2,050～2,100万円		
				D	5	2,100～2,150万円		
				E	2	2,150～2,200万円		
合計		165						